



<本年度会長方針>

新たなる一步を

WEEKLY REPORT
No.1296

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル
会長 高木 政義 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル6F
幹事 大原 敏正 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
URL <http://www.nagoya-osu.org> E-mail office@nagoya-osu.org



第1519回例会

私の心に残るロータリー
体験を語る月間地区

平成27年5月21日(木)

地区研修・協議会報告

於 名古屋東急ホテル

出席計算数 会員 57名

48名中43名出席

出席率 89・58%

前々回出席率 86・00%

例会プログラム

例会プログラム

★感謝状披露

・日本介助大協会

★ネパール地震義援金贈呈

★鬼頭地区研修・協議会実行委員長
・運営協力の御礼

★武藤会長組織副委員長
・会員組織アンケート報告

★卓 話「地区研修・協議会報告」

★ロータリーソング

「奉仕の理想」

指揮者 岡村 隆徳

ピアノ伴奏 富板 玲子

ゲスト

ニルマニさん(ピタター)ご夫人

長谷川裕子さん

ピタター

カトマンズニューシティーロードRC

ニルマニ・ラル・

シエスタさん

ニコボックス

地区研修・協議会くろこうさんで

した。

高木 政義

地区研修・協議会は皆様のご協力

で無事終える事ができました。あ

りがとうございました。

鬼頭 茂成・大原 敏正

久しぶりです。 小笠原和俊

小笠原君マージャン大会優勝おめ

でこと。 尾上 昇

中原さん、長い間御苦労さまでし

た。 岩崎 征一

草野先生ありがとうございました。

渡辺 観永

結婚記念月です。あつという間の

36年間でした。 前田 隆久

妻の誕生日です。渡辺さんいつも

ありがとうございます。

誕生日です。 春日井和良

佐藤 彰

会長挨拶

10日の日曜日、名古屋大須RC

がホストクラブである地区研修・

協議会が開催されました。例会

変更による全会員の協力として実

行委員会、事務局の熱心な準備作

業により無事終了することができ

ました。ありがとうございます。

安堵しています。

週末の16日に愛・地球博記念公

園内で日本介助大協会による「介

助犬フェスタ2015」がありま

した。協会よりの感謝状の贈呈があ

り出席しました。当日は天気も回

復し大変なごさわいでした。橋本

久美子会長から感謝状をいただき

ました。会長は橋本元総理大臣

のご夫人で元気な様子に驚きまし

た。今後とも介助犬支援は続けたい

ものです。

昨日(20日)早朝にセントレア

に行きました。受入青少年交換学

生のダルトン君がアメリカ(イン

ディアナ)へ帰ることになったか

らです。通常は7月の帰国ですの

で早期帰国です。原因は彼が行っ

た不法行為です。交換学生として

許されないことです。彼の日本で

の生活に関与した者として、まさ

に残念の一言です。今回の事案か

ら多くの課題が残りました。ロー

タリーの青少年交換事業の意義を
認めつつも多くの問題が気になり
ます。もちろんどんな事業も完璧
なものはありません。以前地区青
少年交換委員会のある委員が言っ
ていました。いろいろな事がある
が、派遣先から帰国してくる学生も
帰国する受入学生たちを見ている
とこの事業をして本当に良かった
と思う。同感であります。

地区研修・協議会報告

次年度クラブ奉仕委員長

大原 敏正さん

この分科会はクラブ運営部門を

対象とした分科会で、メインテー

マは「会員増強」であった。

先ず2760地区の会員数の増

減がテーマでござい、2009年

からは毎年約20人から70人程の



会員数減少が2013年まで続い
た。現在は3月末時点で4,833
名で、2010年の会員数まで増
加回復している。会員増強は先ず
退会者を減らす事が先決。

地区がまとめた退会者の退会理
由では、入会3年未満の退会理由
で最も多いのが、入会前の説明と
入会後のクラブライフとの相違
ギャップ感覚であった。ほかには
クラブ運営がつまらない、友達
が出来ない、例会だけでは打ち解け
られない、下働きがいや、何で今
更こんな事をうーと言った意見が紹
介された。

入会3年から10年未満では、あ
る程度理解してクラブライフが面
白くなって来たが派閥に巻き込ま
れる、会員同士の人間関係のトラ
ブル、マンネリ、活動に飽きて来
た、職場の退職、転勤等会社の事
情が多くなって来る。

入会10年位を過ぎてもクラブ運
営や指導者に不
満が出る一方、
家庭や会社の事
情、定年退職等



の特徴が出て来るようになって。そのため退会防止策としては会員個別の情報の早期の入手と、きめ細やかな早めの対応が大切である。また対策として趣味の同好会の入会を勧める、重曹な役職を与える、ロータリー精神の学習、汗をかき奉仕活動に参加する、お互いマメに声掛けをする等が考えられる。

一方、会員増強にも特効薬はなく、会の充実が大前提である。そのためにはクラブが長期計画を立てて将来の会員数を会全体として明確化する。その上で会の高齢化を防ぐ為にも若手会員の増強を主眼に、二世会員の入会と女性会員の増やす事が今後ポイントとなる。地道にクラブに相応しい人を捜す外に特効薬はないとまとめられた。

アドバイザーの一人、会員歴60年の名古屋クラブ盛田和昭パストクラブナーは「組織が大規模になると大企業病に陥り、誰かがやるだろ」との沈滞し易い。と述べられた。会員一人一人がお客様意識を捨て、失敗を恐れず、どんな場でも「serve」の意識を強く持ち続ける事が必要と再認識した。

地区研修・協議会報告

次年度職業奉仕委員長

宇野 史広さん

(次頁以降に掲載します)

地区研修・協議会報告

次年度社会奉仕委員長

春日井和良さん



皆さんこんにちは。次年度、社会奉仕委員長を仰せつかりました春日井です。地区研修協議会の報告をさせていただきます。

第4分科会では社会奉仕関連部門という事で、社会奉仕以外で地区ロータリー財団委員長、同じく一丁委員の方々も参加され、「地域」目を向けた奉仕活動」というテーマで各リーダーのお話がありました。

次期社会奉仕委員長からは、災害などの非常時を想定した防災で地域に貢献して行くような取り組みを入れたい、BOP:企業継続計画なども、きつんと対策が取られていければ、いざという時にいち早く地域への対応なり、社会貢献につながるるので、次年度はそのような働きかけをしたいと思いますとお話がありました。

財団委員長からは地区補助金をつまぐ利用して社会奉仕活動に

活用して頂きたい、とお話しました。

2015-16年度は56クラブ3委員会が申請し総額1,600万ぐらい支給されており、その中で社会奉仕奉仕関連でもいくつかの事業があるので、まだまだ大いに利用して頂きたい。ただ、前年度の1-3月中に申請し8月以降に補助金が支給ということなので、早くからの計画立案が必要なのでそこは充分注意する必要がありますとのこと。

次に、一丁委員の杉浦さんからWebの活用についてお話がありました。2760文庫という公式ページがあるので、そこから地区の活動、報告など情報を得て活動に生かして頂きたい。

あと、環境保全については、愛知生物多様性戦略2020というCOP10で採択された目標達成に向けた自然環境の保全と再生のガイドラインに合った活動を推進していく予定です。

最後に、RCC:ロータリー地域社会共同隊について、当地区14クラブが提唱された15の隊が活動されていて、地元の人達をロータリーの奉仕活動の輪の中に巻き込んで、共に行動しているそうです。そういった意味から、RCCはRCCの存在を地域の人々にアピールする最良の手段となるので、

是非、新たなRCCの提唱を検討して頂きたいとのことでした。以上、簡単ではありますが、報告させていただきます。

地区研修・協議会報告

次年度国際奉仕委員長

岡村 隆徳さん

(次頁以降に掲載致します)

地区研修・協議会報告

次年度青少年奉仕委員長

川畑 博敏さん



育成を目的に、インターアクト、ロータリーアクト、ライフ、青少年交換の4つのプログラムに積極的に活動してほしいとの要望がありました。

2. 次年度青少年奉仕カウンセラー

松本宏さん(パストクラブ)

青少年奉仕プログラムとして次の活動があるご紹介されました。

- ① 青少年と接する際の行動規範に関する声明。
- ② 新世代のための月間中の活動奨励。
- ③ 新世代のための会議。

(地域の指導者との討論の場の提供)

- ④ 障害のある青少年に対する支援活動。
- ⑤ インターアクトの育成と支援活動。
- ⑥ ロータリーアクトの育成と支援活動。

- ⑦ ロータリー青少年指導者養成プログラム
- ⑧ 青少年交換の支援活動。
- ⑨ 青少年の薬物乱用防止活動。
- ⑩ 児童虐待防止活動。
- ⑪ 教育問題。

3. 次年度地区インターアクト委員長

奥田清仁さん(豊田RCC)

1962年に米国フロリダ州のメソバロン高校に世界で最初のインターアクトクラブが誕生して以来現在では120以上の国や地域に

において25万人以上の青少年が、地域のための奉仕活動や国際理解を深める活動を行っています。2760地区では、16のインターアクトクラブがあり、地区内クラブ同士との交流やインターネットを通じた情報の共有など盛んであり、会員数の増加や新しい事業の取り組みなど更なる活性化が見られ、来年度は1インターアクトクラブが誕生することになります。

4. 次年度地区ロータリーアクト委員長

西本 幸次(名古屋南RC)

2760地区にある9つのロータリーアクトクラブの総会員数は依然として減少傾向にあり、今年度120名の会員数は次年度100名以下になりそうです。今後の活動内容にロータリーアクトも提唱クラブも方向感を失っている状況だということです。

5. 次年度地区RYLA委員長

竹内幹尚(大宮RC)

1959年、オーストラリアのクインズランド州の自治権獲得100周年記念にイングリッドのアレクサンドリア女王が臨席された際、女王と同世代の青年たちと語り合いの場を作ったのが始まりで、これを青少年指導者養成プログラムとして発展させたのがRYLAです。次年度は第24回になるRYLAセミナーに多くの青年の参加協力と応援をお願いします。

とでした。

6. 次年度地区青少年交換委員長

岡田雅隆(大宮RC)

1929年米国で生まれたマーク・コペンハーゲンのロータリアンの子供たちの交換留学を機に、皆様ご存知のとおり現在に至っています。次年度は10名以内の派遣学生を募集しており、現状7名の希望者があります。

1968年からの実績では、高浜RCが1番、名古屋大須RCが2番、小牧RCが3番となっていますが、直近10年間では、名古屋大須RCが1番で、高浜RCが2番、続いて稲沢RCと名古屋名駅RCが3番という状況です。

青少年交換委員会での問題点としては、地区全体の会員数の減少並びに高齢化により、ホストファミリーの確保が難しく交換事業を中止するクラブが増えていることです。また、交換学生として来日してくる外国人留学生の質の低下などに起因する問題などを抱えていることでした。

感謝状披露

「介助犬フェスタ2015」

5月16日(土)愛・地球博記念公園(モリコロパーク)内特設会場にて日本介助犬協会主催の第5回介助犬フェスタが開催されました。当日朝は生憎の小雨模様にも関



わらず、全国から介助犬を伴った障害者の方や介助犬のボランティアをされている、介助犬に興味を持つている方など5,000人以上が集まり交流を深めました。

朝10時の開会と共に介助犬普及支援に尽力された2団体2個人に感謝状が贈られ、当名古屋大須ロータリークラブも大須地区、大須小学校、WFFでの周知活動に対し、協会から高木政義会長に感謝状が贈られました。他に名古屋東山ロータリークラブと動物病院、動物眼科病院が協会の橋本理事長から感謝状が送られました。当日はまた介助犬普及大使のシユナイオングさんも来られ熱く普及について語られました。

ネパール地震義援金贈呈

高木政義会長より、カトマンズニコーシティーロードRC ニルマニ・ラル・シエस्ताさんへ義援金を手渡されました。



受入青少年交換学生 帰国

青少年奉仕委員長 宇野 史に受入青少年交換学生のダルトン



・レイン・バイカーくんが、5月20日(水)予定より早く留学を終え、多くの思い出とともにアメリカへ帰国しました。

滞在中にはホストファミリーをはじめ多くの会員の皆様にご支援を頂きました。青少年奉仕委員会より改めてお礼申し上げます。ご協力ありがとうございました。

派遣青少年交換学生 報告

青少年交換学生 伊藤 彩香

こんにちは。こちらに来て8ヶ月がたちました。4月に入ってから暖かい日が続いたり、寒い日が続いたり気温差の大きい日々が続きました。それでも下旬に入ってから20℃を超える日が続き、やっと木々に緑の葉が付きました。25℃の気温になった日の後、雨が降り、1日から2日といっせいに緑の芽が出て葉を広がりました。こんなにはっきりと木々の成長を、春の訪れを見たことがなかったのでも感動しました。

外で友達と遊ぶことも多くなり、鬼ごっこやサッカー、野球をしたり、のんびり座って本を読んだりすることも楽しいです。ミネソタにいるからわかる春の訪れの暖かさだなと実感しています。ホストファミリーがワカサギ釣りに連れて行ってくださり、スペリオール湖の中を歩いてたくさんワカサギを釣り



ました！大きな網を持って湖に入っ
て行いま
す！日本
とはなか
なかつた
たやり方
に驚きま
した。釣
った後は、
みんなで

から揚げにして食べました！魚好きの日本人にとっては懐かしい日本の味、ミネソタの味でした！

学校では陸上部に入り、毎日楽しく友達と走っています。時々学校の外をジョギングして、湖に行ったり…といろいろな探検しています！レースにも参加したのですが、初めてのレースでゴールを目前に転びました。しかし皆さん声をかけてくださって、最後まで走りきることができました。チームメイトやコーチ、他の学校の選手など、終わった後は「Good Job!!」と励ましてくださいました。優しい方々、応援して下さる方々がいて、私は本当に幸せだと感じました。

その後のレースからは転ばないよつに気をつけて、いいタイムが取れるように毎日練習を楽しんでいきたいと思います。

4月の終わりには、アメリカの学校のビッグイベント、プロムがありました！私も友達とドレスを着て参加しました。ドレスアップからメイクアップまで、準備をするのもとても楽しかったです！ダンスに行つて、たくさん食べて、写真を撮たくさんとって…と私にとっては最初で最後のとても楽しいプロムでした！

今では私はたくさんの方達にかこまれています。こちらに来たころは、周りには知っている人は誰もいず、もちろん日本語を話せる方もいませんでした。しかし私から話しかければ、皆さん快く迎え入れてくださるのもいい方々でした。いつも助けてくれる、励ましてくれる、一緒に笑ったり、楽しい時間を過ごす友達と家族です。



5月7日から10日はロータリーの District Conference がありました。そこで、私たちが Joints と来年他の国に派遣される outposts でタレントショーを行いました。みんながそれぞれ自分の特技を活かしたパフォーマンスをして、本当にいいものを完成させることができました！私は何人かの留学生たちと、ダンスを踊りました。そのほかにもスピーチ、ギター、ピアノの弾き語り、アイスクリームを作った留学生もいました！

タレントショーのほかにも、ロータリーの方々とディナーやランチをいたなき、留学生について私のことや日本のことについてなど、お話できる機会がたくさんありとても充実した時間でした。ロータリーの活動報告などのスピーチを聞くこともでき、とても勉強になりました。今回がアメリカで最後のオリエンテーションになりました。何人かの留学生は会つたのが最後でした。当分の前のように続いてきたことが、次々と終わりに近づいてきています。委員の方々からは、「ここで何を学んで、何を経験したか、帰ってからどうするか、何をやるか、などたくさんのお話がありました。ここまでの8ヶ月、9ヶ月間を一緒にがんばってきた留学生同士でいろいろ話しかけていきたいと思います。思い返すこと

がたくさんありました。留学生の一番うれしいこと。それはたくさんの方々の別れがあること。しかしこの1年で大きく成長できたあなたたちなら、たくさんの方々の経験と、たくさんの方々の思い出と、たくさんの方々の家族の力でもっともっと大きくなれる。と委員長さんは私たちにメッセージをくださいました。

5月10日は母の日でした。今私には日本の母と、アメリカの2人の母がいます。たくさんの方々の家族がいます。たくさんの方々の帰る場所があります。みなさんに会えたことを本当に感謝しています。留学生の一番うれしいこと。それはたくさんの方々の出会いがあることです。私はここにきて、たくさんの方々に会

会い、たくさんの方々の思い出を作ったこと、たくさんの方々の経験を、成長することができて、本当にうれしいです。

私のアメリカでの学校生活も残り20日ほどとなりました。そして3ヶ月の長い長い夏休みに入ります。残りの生活を心残りのないよつに思いっきり楽しんで、思い出を、友達を、家族を、もっともつと作つて、大きくなって帰ります！



6月11日(木) 例会の案内
SPEAK OUT DAY
友達を呼ぼう例会

6月18日(木) 例会の案内
例会変更 同日
最終夜間例会

於名古屋東急ホテル
受付18時00分 例会18時30分
6月25日(木) 例会の案内
定款規定により休会

7月2日(木) 例会の案内
会長・幹事所見
会長 田崎 雅三さん
幹事 丹下 富博さん

広報委員会 林 順治
杉浦 令淑・内藤 明
*本文は、原則、頂いた原稿を転載しています。